



令和6年度 熊本支部総会報告

熊本支部長 大村 孝文

令和6年8月25日、ホテル熊本テルサにて令和6年度熊本支部総会を開催しました。猛暑が続く中、総会にご参加いただきありがとうございました。

今回、初めてLINEでの出欠確認を行いました。熊本支部46会員中9会員（保護者12名、学生2名）が参加され、会員出席率は19%と昨年の13%から増加しました。

総会は、支部総会、後援会活動説明、薬剤師談話、職員講演、薬ゼミ講師講演の5部構成で行われました。

第1部：熊本支部総会

後援会の活動と令和5年度収支決算・令和6年度予算案および熊本支部の令和5年度収支決算が報告されました。また、次年度の支部役員を選出して承認されました。

第2部：後援会の活動について

会員様に後援会の活動をより深く理解していただくために、前田事務局長に後援会活動を中心にご講演をお願いしました。

後援会は「第一薬科大学の堅実な発展を後援すること(後援会会則第3条)」を目的とし、フレッシュマンセミナーから国家試験対策まで全学年の学生を対象に支援活動を行っていることを詳細にご説明いただき、理解を深めることができました。

第3部：先輩薬剤師の話

先輩薬剤師の話として、熊本支部長から熊本地震における病院薬剤師の経験についてお話をさせていただきました。

薬剤師の重要な役割のひとつに災害支援があります。熊本地震の急性期における病院薬剤師の活動について、時系列で説明させていただきましたが臨場感を共有できましたら幸いです。また、経験から日頃から災害を想定した事前準備や医薬品供給など薬剤師の役割の重要性をお話しさせていただきました。

第4部：大学の現況について

白谷教授から、薬剤師国家試験結果、共用試験(CBT,OSCE)結果、年間計画、進級率、学力向上のための取り組み等についてご講演いただきました。

各学年で担任制を取り入れ、教官がきめ細かな学生支援を行うことでストレート進級率、ストレート合格率の向上や留年生のサポートに努めており、効果が表れていると講演されました。

第5部：国家試験対策について

薬学ゼミナールの松本講師から、薬剤師国家試験合格に向けてと題してご講演いただきました。

国試対策として、正答率 60%以上の問題を落とさないこと、また、最近の傾向として長文読解能力を養うこと、6年生だけでなく低学年からの学力の積み重ねが重要であることを強調されました。配布資料が充実しており、参加した学生さんが早速 QR コードを登録している姿が印象的でした。

懇親会：ランチバイキング

総会終了後に、ホテルレストランで懇親会を開催しました。

「第一薬科大のホームページから、国家試験の合格率は 90%くらいと楽観していたけど、受験者数も見なければいけなかったんだね」など率直な意見や「同級生だったんだあ」など気さくな会話まで、笑顔の溢れるとても楽しい懇親会になりました。

支部総会に参加された皆さまに厚くお礼申し上げます。

支部総会で、大学の現状や国家試験について重要な情報を入手できます。保護者、学生、先生方の情報交換もできます。ぜひ多くの会員様・学生さんに支部総会に参加していただきたいと思います。

